



枕崎清掃社がボランティア清掃を実施

■ 8月7日、お墓参りで混雑するお盆の前に、有限会社枕崎清掃社が市営墓地のボランティア清掃を実施しました。敷地内や駐車場の草払い、通路に伸びた枝の剪定などを行い、より安全に利用できるようになりました。



高齢者とのふれあいグラウンドゴルフ大会

■ 8月16日、別府小学校で行われました。別府地区の子どもや高齢者などが参加し、子どもたちは打ち方を教わりながら高齢者との交流を深めました。



子どもたちが水生生物を調査

■ 7月23日、金山地区の花渡川上流で行われ、市内の小中学生8人が参加しました。エビやカゲロウなどの周辺に生息する生物を調査し、川遊びなども楽しみながら水生生物と楽しく触れあいました。



水高生がサバ茶漬けを考案

■ 3月18日、地域プロジェクト協議会で、水高生が考案したサバ茶漬けがふるまわれました。地元で取れたサバをふんだんに活用した一品は、参加者からとても好評でした。



技能実習生の日本での生活を支援 ～女性農業者団体Qooki主催による、交通安全教室を実施

7月29日、菊農家で受け入れている外国人技能実習生37名を対象に、大塚公民館で女性農業者団体Qooki主催による、交通安全教室が実施されました。

枕崎警察署交通課職員を講師として、歩行者や自転車利用者としての交通ルールや交通違反についての説明が行われました。

参加した外国人技能実習生は、説明を真剣に聞き、交通安全の意識を高めました。



子どもたちが、地球の未来を考える ～学ぶ環境体験学習塾を開催

8月16日、市民会館で市内の小中学生を対象に、学ぶ環境体験学習塾が開催されました。

子どもたちは、初めに地球の未来のために私たちに何ができるのかについての講話を聞き、地球温暖化について知り、2050年カーボンニュートラルに向けて何ができるかを考え、デコ活アクションについて学びました。

講話の後、再生可能エネルギーのソーラー電池と使用済みのペットボトルをリサイクルして、太陽光で充電され暗くなるとライトが点灯する仕組みを使った、オリジナルのエコライトを製作しました。

子どもたちは環境問題などを楽しく学びながら、夏休みの自由研究に役立てていました。

※デコ活…「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称



夏の風物詩に地域の住民集う ～市内各神社で六月灯を開催

7月下旬、市内の各神社で鹿児島の夏の風物詩「六月灯」が開催されました。

枕崎神社では、地域の小中学生、高校生による巫女舞の奉納や太鼓と花火の共演などが行われました。

また、各神社で地域の子どもの灯ろうの奉納や花火、出店などがあり、多くの人出で賑わいました。



第4回枕崎国際芸術賞展 ～ギャラリートークなど各種イベントが開催

7月21日から開催されている第4回枕崎国際芸術賞展では、会期中、さまざまなイベントが行われました。

7月27日、祝迫正豊氏によるギャラリートークが行われ、大賞作品をはじめ、今回の受賞作品について解説が行われました。

8月10日には、「枕崎アート散策」が行われ、参加者は、国際芸術賞展、枕崎の食、青空美術館を楽しみました。

8月17日、今回審査員を務めた高島依子氏を講師として、「アート講評セッション」が行われ、参加した生徒がそれぞれ作品を持ち寄り、高島氏から生徒に対して、作品についての質問や今後に向けたアドバイスなどが行われました。



別府混成チーム優勝 ～第70回枕崎市少年野球大会を開催

7月26日・27日の2日間、市営野球場と塩浜公園グラウンドで、市自治公民館連絡協議会主催の少年野球大会が開催され、8チームが熱戦を繰り広げました。

2日間、野球経験の有無に関わらず一生懸命な子どもたちの姿に、保護者や地域の皆さんの応援も大いに盛り上がりました。

大会結果は、次のとおりです。
優勝＝別府混成チーム、準優勝＝大堀・下野原チーム、3位＝俵積田・中原チーム、枕崎西チーム